

未だに続く震災の痛み

今年度も被災地支援を続けます

震災発生から約1年5ヶ月が経過しましたが、まだ支援を必要とする人々も多く残されています。

武雄市では、今年度も引き続き被災地において必要とされる支援に取り組みます。

キッズタウンステイ助成



▲昨年8月に「キッズタウンステイ」で福島の子どもたちが武雄へ

震災や原発事故により不安を抱えて生活する被災地の子どもたちに、武雄市に滞在して心身をリフレッシュする機会を提供するため、旅費の一部を助成します。

◆対象期間／平成25年3月31日(日)まで

◆対象者／岩手・宮城・福島県等の災害救助法適用市町村に居住する中学生以下の子ども

◆助成金額／移動費(3万円)と

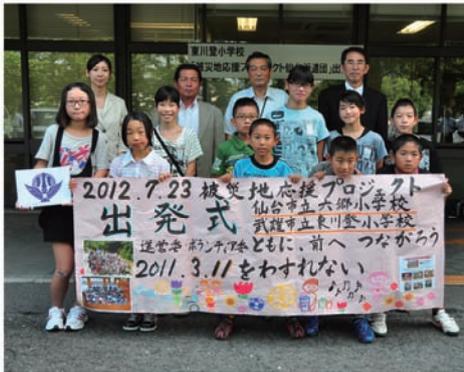
宿泊費(1泊5千円の最大3泊まで)の実費の一部

◆申込・問合せ／被災者支援課
☎0954(23)9122

東川登小学校タウン・サポート「キッズボランティア」

7月23日、東川登小学校5・6年生の男女10人が、東日本大震災の被災地応援プロジェクトとして宮城県仙台市に派遣されました。

日程は、7月25日までの2泊3日で、仙台市・名取市の被災地で震災の爪痕を目のあたりにしたほか、7月19日にテレビ会議を



▲市役所前で行われた出発式(7月23日)

自分たちのまちは自分たちで

協働まちづくり地域交付金

事業実績

「武雄市協働まちづくり地域交付金制度」は、平成20～24年度に、地域の特色を生かした個性豊かな住民総参加によるまちづくりと地域の均衡ある発展を目指して、各まちづくり協議会に対して、交付金を交付するものです。

平成23年度の事業実績(交付金額)は、合計1279万605円でした。各協議会別の主な内訳は次のとおりです。詳しくは市ホームページをご覧ください。

行った仙台市立六郷小学校を訪問しました。

東川登小は以前、アルミ缶回収で集めた資金でドッジボールや激励文などを贈って六郷小と交流を深めていましたが、両校の生徒が実際に会うのは今回が初めて。お互いに自己紹介をした後に「将来の夢」について語り合うなど、親交を温めました。

その後、派遣団一行は仙台市役所を表彰訪問。復興担当職員による講話を聞くなど、被災地の現状や今後の課題について理解を深めました。



▲盆踊り開催事業(朝日まちづくり推進会)

武雄町まちづくり推進協議会

「温泉春まつり事業」、「地区標識とベンチ設置事業」など5事業
…175万3614円

橘町まちづくり推進協議会

「歴史伝承事業」、「周防大島体験活動事業」など6事業
…239万8000円

朝日町まちづくり推進会

「EM活用による河川浄化活動」、「史跡等案内板整備事業」など6事業
…117万8000円

武内町住みよいまちをつくる会

「ふるさと再発見冊子(武内町誌)作成」、「史跡めぐり健康



▲周防大島でのカヌー体験
▼まちなか探検(いずれも橘町まちづくり推進協議会)



マップ作成」など3事業

山内町まちづくり推進会

「LED防犯灯設置」、「史跡文化財案内標柱整備」など3事業
…382万2000円

北方町まちづくり推進会

「北方中央線イルミネーション点灯、花火大会」、「北方町の文化を訪ねる事業」など3事業
…146万9830円

問合せ／市民協働課

☎0954(23)9122